



亀中だより

No.20 令和3年9月27日 文責：岡田



For The Students!

社会性に富む亀中生！ゲーム・スマホ、学習習慣には課題も

全国学力・学習状況調査では、生徒質問紙という生徒の生活や学習の様子を問うアンケート調査もあります。この結果から、亀中生の姿も出てきました。生活の諸側面や豊かな心の育成にかかわること、学習環境や教育活動などへの問いがありますが、本校の結果と特徴をまとめてみました。



【家庭生活に関すること】

「朝食の習慣」や「生活リズム」では全国平均と同等、またはやや高い傾向がみられました。携帯やスマホの約束を守っていることもうかがえましたが、ゲーム等の時間はかなり多い様子がありました。

【豊かな人間性（自己肯定感、社会への関心等）に関すること】

＜全国平均を上回った質問項目＞

1. 自分には、よいところがあると思いますか
2. 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか
3. 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
4. 人が困っているときは、進んで助けていますか
5. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
6. 今住んでいる地域の行事に参加していますか



「自己肯定感」「挑戦する気持ち」「他者への支援」「社会とかかわる力」など全国平均を上回り、自分を価値ある人間だと感じ、社会の中で役に立つ個人として高まろうとする気持ちがうかがえます。亀中生が人間味にあふれた人へと成長してくれていることをうれしく感じました。

また「地域行事への参加」は全国平均を20%以上超えており、地域社会の中で豊かに活動している様子が見えてきます。今夏にもコロナ禍のために地域活動への参加は自粛傾向でありましたが、清掃活動等に積極的に参加する生徒が見られています。

【学習に関すること】

学校だより No.18 でお伝えしたように本校の学力調査の結果は残念ながら課題の多いものでした。質問紙から見てくる学習への課題はまずは「学習時間が少ない」ということです。一日の学習時間は平日、休日ともに大きく下回っているうえ、表からは見えませんが、一日の学習時間が「30分以下」という生徒が全国の2倍近くになっています。これに対して塾や家庭教師から教えてもらっている生徒は全国平均を5%上回っていることから考えると、亀中生は「自ら学ぶ」時間がもっと必要ではないかという感じがしてきます。



また学校での学習を考えてみると、生徒は「他者との意見交流」「授業時の主体的な活動」「学級での話し合い活動」などに有意な結果があり、学校としての授業改善によって子どもたちの“より深い学び”となる可能性はまだまだあると見るべきだと思います。「ICTの活用」は増加していますが、「総合的な学習の時間」の在り方なども含めて、学校でも取り組みを行っていきます。

アンケート結果の詳細は裏面をご覧ください。